

情報

表現・コミュニケーション

小学校高学年

中学校

高校

国語

社会

総合

課外授業 ようこそ先輩 30分

今日は 聞き手に徹してみよう 作家・エッセイスト 阿川佐和子

(2011年放送)

この番組の良さ



インタビューの秘訣を知る

作家・エッセイストの阿川佐和子さんが、母校・東京都新宿区立四谷第六小学校を訪ねます。阿川さんからインタビューのコツを伝授された子供たちは街に飛び出し、気になる大人へのロング・インタビューに挑戦します。

番組を視聴することで、相手から魅力的な話を引き出すインタビューの展開方法の秘訣を知ることができます。アガワ流インタビュー術は、国語や社会科、総合的な学習などでインタビューを行う際の事前学習として、有効な手立てとなることが期待できます。

読み手を引きつけるまとめ方を知る

阿川さんから編集の指導を受けた子供たちは、対談集作りに挑戦していきます。インタビューで聞き出した内容をもとにリードやタイトルを考える活動を通して、どのようにしたら読み手を引きつけるまとめ方になるかを学ぶことができます。

番組活用のポイント

インタビューの難しさに共感することからスタートする

子供たちの多くは、これまでの学習の中でインタビューをした経験があることでしょう。しかし、言葉につまってしまったり、自分がしゃべりすぎてしまったりするなど、インタビューで相手の思いや考え、経験などを聞き出すことは、初めは難しいものです。番組ではまず、阿川さんが悪いインタビュアーを演じてみます。授業では、四谷第六小学校の6年生の子供たちに自分たちの経験を重ねながら番組を視聴できるようにするために、今までの自分のインタビュー経験を振り返ってから視聴をスタートすると効果的です。

相手に誠実に向き合い、聞き手に徹することを学ぶ

最初に阿川さんが子供たちに伝えたことは、相手と誠実に向き合うことです。そして、聞き手に徹し、相手の話をよく聞いていれば次の質問を思い付くことができることや、詳しく聞きたいときには、「具体的には」という言葉が有効であることなどのインタビューの秘訣を伝授していきます。番組視聴の中で、この部分に焦点を当て、その良さについて話し合い、考えていくことにより、その後の活動をより充実したものにしていくことができます。

実際にインタビューを行う

本番組は、教科の学習や総合的な学習で、インタビューを取り入れた学習活動を行う前に活用すると効果的です。授業の後半(番組視聴後)に、アガワ流のインタビュー術を体験してみることにより、インタビューのコツを理解することができます。その際、相手の答えの中から次の質問のヒントを得たり、具体的なことを聞き出したりすることができたかという観点で振り返りを行うことが、大切な評価の視点となります。

学習展開例






授業時間 45分



沼津市立内浦小学校
教諭 加納 真

新着

相手から魅力的な話を引き出すには ～アガワ流インタビュー術～

時間配分	学習活動	教師の支援
5分	①インタビューの経験について話し合う。	○今までにインタビューをして、うまくいかなかったことや失敗したことなどを話し合い、共有することで、インタビューの難しさを具体的に想起できるようにする。
30分	<p>②相手から魅力的な話を引き出すにはどのようにしたらよいか考えながら、番組を視聴する。</p>  <p>アガワ流インタビュー術1: 相手と誠実に向き合う</p>  <p>アガワ流インタビュー術2: 相手の考えの中から次の質問を見つける</p>  <p>アガワ流インタビュー術3: 『具体的には?』で話を掘り下げる</p>  <p>街に飛び出し、ロング・インタビューに挑戦する子供たち</p>  <p>対談集という形にまとめるために、 タイトルやリードを考える子供たち</p>	<p>○どのようにインタビューをしたら相手から魅力的な話を引き出すことができるのか、考えながら視聴するように指示する。</p> <p>○3つの「アガワ流インタビュー術」を板書し、阿川さんが伝えようとしていることの要点を押さえる。</p> <p>○読み手を引きつけるまとめをする方法として、インタビューで聞き出したことから、心に残ったことをリードやタイトルとして抽出する方法が有効であることを確認する。</p>
10分	③番組から学んだことをもとに、実際にペアでインタビューに挑戦してみる。	○総合的な学習の時間などでインタビューを行うことを想定し、アガワ流インタビュー術を生かしたインタビューを実際に体験してみることで、その後の活動への意欲づけと、見通しにつなげる。

情報

コラム

「引き出す」と「聞き出す」

本番組は、1993年から週刊誌で対談を続けている阿川佐和子さんのインタビュー術を取り上げています。相手の懐にさっと入り込み、意外な素顔や本音を巧みに引き出すインタビューの方法を学ぶことができます。一方、調べ学習などで、ねらいに合わせて聞きたいことを聞き出すインタビューの場合は、ティーチャーズ・ライブラリーの『伝える極意 聞きたいことを聞き出すために～インタビュー～』（2013年度版P.32）の視聴が効果的です。これらの番組を目的に応じて有効に活用することで、子供たちのインタビュー力の向上が期待できます。